

令和2年度事業報告書

令和 2年 4月 1日～令和 3年 3月31日まで

特定非営利活動法人Amari



1 事業の成果

目的にあげた食育サロン福祉事業の食で交流がなされ高齢者のいきいきした姿が見られ今年度は、他の団体とタイアップし高齢者の見守りも加えました。食育サロン利用者自らがボランティアとなり、企画を行い活動しています。「食を通し地域を元気に」を守り、活動を今年度も行います。高齢化社会に向け、新たな場所で食育サロン福祉事業を新たな展開へと進める運びとなり、宇佐市介護予防・日常生活支援総合事業の指定業者となり6年目を迎え、高齢者と食育に取り組むことでの、介護予防・認知症予防(改善)を目標に取り組んでいます。また生活応援訪問事業にも手を上げ、6年目が過ぎました。今年度から訪問事業も始まり、スキルアップを常に行いながら、今後も高齢者の食育の普及・推進に力を入れる予定です。地域の高齢者に足を運んで着て頂き熱いものをみんなと一緒に食べていただく。原点にもう一度かえることにします。



地域の児童クラブとタイアップしての食育活動も早3年目が過ぎています。

地域伝承食を昨年同様関わりながら、子ども達や地域の方々と学習・体験調理や作り方をより多くの方々に伝え、伝統食のすばらしさを伝えるべく市外にも講座を行う取り組みを今年も継続し、昔から作られてきた、調味料についても、また、伝えたい田舎料理(郷土料理)についても今年度は取り組んで行きたいと考えています。定款にあげて毎年取り組みを行う摘草研究、食育サロンを利用する多くの方々に食べて頂いたり、塗り薬としての効果を成果にまとめ県民の方々に分かりやすく伝えるカレンダー作成、去年は、予算の関係上カレンダー作成を見送りました。来年度はレシピ本の形で復活に向け頑張りたいと思います。民間企業とのタイアップも8年目。今年度新たな企業さんがバックスポンサーにと手を上げていただきました。これも、取り組み成果と考えています。新たな形として協力いただく企業さんに報告を目指します。地元の小学生との食育の日の取り組みも7年目となりました。今年度は、高校生の高齢者サロンへの交流のお手伝いをしながら、高校生と高齢者を繋げての食育プロジェクトのお手伝い。また、高齢者食堂の実現・



地

域との交流の場（A m a R i 屋台村）ロングテーブルの定着。



すぐには大きな結果とはならず見えませんが小さな活動をコツコツ行う食育活動。「食」の大切さ。「食」がすべてに関係して成り立っていること。活動を続けることで少しずつ成果となり、形となる事の大切を身に染み感じているところです。定款は守りながら、新たな取り組みを加え、皆さんと共に育っていく、A m a R i でありたいと思います。今回の新型コロナウイルスの感染拡大防止にNPO法人A m a R i として、全力で戦っていく所存であります。どうぞご協力宜しくお願い致します。これから、尚一層・理事一同一丸となり食育サロン地域福祉事業に頑張っていく所存であります。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の 実施日時 (B) 当該事業の 実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象 者の範囲 (E) 人数	事業費の金額 (単位：千円)
食育サロン福祉事業	・食事を一緒に作る	(A) 毎週火曜日・ 毎週土曜日 (B) 下恵良食育サロン (C) 3人	(A) 宇佐市や他 市 (B) 人	千円
食育啓発事業 (野草研究発表)	・食事マナーの改善 ・摘草試作	(A) 毎週火曜日 第2土曜日 (B) 下恵良食育サロン (c) 3名 (A) 3月から随時 (B) 下恵良食育サロン (c) 1名	(D) 宇佐市内 南院内地 区 (E) (D) 宇佐市内や 他市 (E) 300人以上	0円
地産・地消・安心・安 全な商品・食品開発 及び雇用創出事業	・ゆずこしょう作り ・商品開発 (こんにゃく)	(A) 9・10月～ 3月まで (B) 下恵良食育サロン 四日市食育スタジオ (c) 3名	(D) 宇佐市内・ (E) 100名	円
地域の見守り 訪問及び生活支援 事業	・食事を一緒に食べる ・食事作りや声掛けに 訪問する	(A) 毎週火・木・金 (B) 下恵良食育サロン (c) 3名	(D) 宇佐市内 (E) 人	千円

(備考)

- 2は、(1)には特定非営利活動に係る事業、(2)にはその他の事業について区分を明らかにして記載する。
- 2(2)には、定款上「その他の事業」に関する事項を定めているものの、当該事業年度にその他の事業を実施しなかった場合、「実施しなかった」と記載する。

活動計算書

[税込] (単位:円)

特定非営利活動法人AmaRi

自 令和 2年 4月 1日 至 令和 3年 3月31日

【経常収益】

【受取助成金等】

受取補助金 580,100

【事業収益】

事業収益 1 3,069,000

事業収益 2 754,700 3,823,700

経常収益 計 4,403,800

【経常費用】

【事業費】

(人件費)

人件費計 0

(その他経費)

業務委託費(事業) 18,000

印刷製本費(事業) 17,500

車 両 費(事業) 20,500

通信運搬費(事業) 187,858

消耗品 費(事業) 283,143

修 繕 費(事業) 11,000

水道光熱費(事業) 361,143

減価償却費(事業) 1,394,839

保 險 料(事業) 140,370

租税 公課(事業) 111,228

支払手数料(事業) 4,738

支払 利息(事業) 21,414

備品購入費 (事業) 145,030

雑費 (事業) 264,688

食料費 (事業) 710,358

燃料費 (事業) 189,513

その他経費計 3,881,322

事業費 計 3,881,322

【管理費】

(人件費)

人件費計 0

(その他経費)

水道光熱費 27,182

接待交際費 232,837

減価償却費 62,553

租税 公課 8,372

支払手数料 72,820

その他経費計 403,764

管理費 計 403,764

経常費用 計 4,285,086

当期経常増減額 118,714

【経常外収益】

経常外収益 計 0

【経常外費用】

活動計算書

[税込] (単位:円)

特定非営利活動法人AmaRi

自 令和 2年 4月 1日 至 令和 3年 3月31日

経常外費用 計	0
税引前当期正味財産増減額	118,714
法人税、住民税及び事業税	71,000
当期正味財産増減額	47,714
前期繰越正味財産額	△1,977,264
次期繰越正味財産額	△1,929,550

貸借対照表

特定非営利活動法人AmaRi
全事業所

[税込] (単位:円)
令和3年3月31日現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】		【流動負債】	
(現金・預金)		未払法人税等	71,000
普通預金	189,493	流動負債合計	71,000
現金・預金計	189,493	【固定負債】	
(売上債権)		理事長借入金	6,066,041
未収金	363,300	固定負債合計	6,066,041
売上債権計	363,300	長期借入金	10,972,000
流動資産合計	552,793	負債合計	17,109,041
【固定資産】		正 味 財 産 の 部	
(有形固定資産)		前期繰越正味財産	△1,977,264
土地	400,000	当期正味財産増減額	47,714
建物	11,099,397	正味財産合計	△1,929,550
車両運搬具	3		
建物付属設備	3,012,763		
什器備品	114,535		
有形固定資産計	14,626,698		
固定資産合計	14,626,698		
資産合計	15,179,491	負債及び正味財産合計	15,179,491

財 産 目 録

特定非営利活動法人AmaRi
全事業所

[税込] (単位：円)
令和 3年 3月31日 現在

《資産の部》

【流動資産】

(現金・預金)

普通 預金 189,493
現金・預金 計 189,493

(売上債権)

未 収 金 363,300
売上債権 計 363,300

流動資産合計 552,793

【固定資産】

(有形固定資産)

土 地 400,000
建 物 11,099,397
車両運搬具 3
建物付属設備 3,012,763
什器 備品 114,535

有形固定資産 計 14,626,698

固定資産合計 14,626,698

資産合計 15,179,491

《負債の部》

【流動負債】

未払法人税等 71,000

流動負債合計 71,000

【固定負債】

理事長借入金 6,066,041

固定負債合計 6,066,041

長期借入金 10,972,000

負債合計 17,109,041

正味財産 △1,929,550

財務諸表の注記

特定非営利活動法人AmaRi

令和3年 3月31日 現在

【重要な会計方針】

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

(1). 固定資産の減価償却法

建物	・・・	定額法
建物附属設備	・・・	定額法
車両運搬具	・・・	定率法
工具器具備品	・・・	定率法

(2). 消費税等の会計処理

消費税は免税事業者です。

【会計方針の変更】

【事業費の内訳】

事業費の区分は以下の通りです。

【税込】（単位：円）

科目	地域福祉サロン	介護保険事業	食育サロン等事業	合計
(人件費)				
人件費計	0	0	0	0
(その他経費)				
業務委託費(事業)			18,000	18,000
印刷製本費(事業)			17,500	17,500
車両費(事業)	7,585	12,915		20,500
通信運搬費(事業)	69,507	118,351		187,858
消耗品費(事業)	77,611	132,153	73,379	283,143
修繕費(事業)	4,070	6,930		11,000
水道光熱費(事業)	133,623	227,520		361,143
減価償却費(事業)	516,090	878,749		1,394,839
保険料(事業)	51,939	88,431		140,370
租税公課(事業)	41,154	70,074		111,228
支払手数料(事業)	2,227	2,511		4,738
支払利息(事業)	7,924	13,490		21,414
備品購入費(事業)			145,030	145,030
雑費(事業)	94,051	160,137	10,500	264,688
食料費(事業)	262,833	447,525		710,358
燃料費(事業)	70,119	119,394		189,513
その他経費計	1,338,733	2,278,180	264,409	3,881,322
合計	1,338,733	2,278,180	264,409	3,881,322

【施設の提供等の物的サービスの受入の内訳】

該当なし

【活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供の内訳】

該当なし

【使途等が制約された寄付等の内訳】

該当なし